

町会所絵図五枚之内 船町

部分 享和元年
大垣市立図書館

九八×二三〇センチ

船町は西美濃の水運の拠点として栄えた。慶長六（一六〇二）年、木村与次右衛門が伊勢町より移住して水運に携わり、慶長末期には船問屋が置かれた。絵図の右端の高橋から西へ美濃路が通り、この往還に沿って町屋が続く。町屋の北は侍屋敷で、西へ向かうと久瀬川町に至る。美濃路沿いの水路は元和六（一六二〇）年に開かれ杭瀬川に達している。右端上方の大きな建物が船問屋谷家である。

